

第2次秋田市総合交通戦略および  
第2次秋田市公共交通政策ビジョンからの変更点

第2次総合交通戦略および公共交通政策ビジョン

関係者の役割分担

市民 地元関係者	地域公共交通に積極的に関与することで、維持に協力
交通事業者	中心部のバス路線および鉄道路線の維持・サービス向上に責任を持つ
行政	地域公共交通の維持および利用者サービスの改善に要する予算の確保に努める 郊外部における廃止路線沿線について、地域住民の移動手段の確保に責任を持つ

基本的な方針

多核集約型の都市構造を形成し、誰もが複数の移動手段を選択できる交通体系の実現

目標1 歩行者・自転車が安全・安心かつ快適に利用でき、にぎわいに寄与する歩行者・自転車交通環境の実現

【取組みの視点】  
歩行者・自転車が多い都心や地域中心において安全安心で快適な空間を整備するとともに、高齢者等に対応したバリアフリー化や自転車利用促進施策を実施し、にぎわいのあるまちづくりを目指す。

パ ツ ケ ー ジ	1 誰もが安全・安心かつ快適に利用できる歩行者・自転車空間の整備
	2 にぎわいに寄与する交通環境の実現

目標2 まちづくりと一体となった、将来にわたり持続可能な公共交通網の実現

【取組みの視点】  
多核集約型の都市構造を形成する公共交通網を整備し、少系統多頻度運行による幹線軸の利便性向上を図るとともに、全ての地域住民の移動手段となるマイタウン・バスを含む支線軸の確保、にぎわいの創出等に資する域内交通の充実、交通結節点における鉄道とバスの連携強化を図る。  
また利便性向上施策とあわせてバス路線運営適正化に向けた取組みを進めるとともに、行政、交通事業者、地域住民が一体となり持続可能な公共交通の確保に向けた仕組みづくりに取り組む。

パ ツ ケ ー ジ	1 多核集約型の都市構造を形成する公共交通網の整備
	2 利便性向上、バス路線運営適正化に向けた取組みの推進
	3 持続可能な公共交通の確保に向けた仕組みづくりの推進

目標3 拠点間ネットワークを形成する道路網の実現

【取組みの視点】  
多核集約型の都市構造を形成する「骨格道路網（環状+放射道路）」を整備し、都心部と地域中心感を結ぶことで、人や物の移動において、市民生活と経済活動を支える自動車交通の利便性が向上するとともに、市街地の通過交通排除による混雑緩和を図る。また安全な道路環境の確保やバスの走行性を高める道路整備を進める。

パ ツ ケ ー ジ	1 多核集約型都市の骨格となる道路網の整備
	2 拠点間ネットワークを強化し走行性を高める道路整備
	3 安全で円滑な交通の実現に向けた取組

第3次総合交通戦略および公共交通政策ビジョン

関係者の役割分担

市民 地元関係者	地域公共交通に積極的に関与することで、維持に協力 地域公共交通の積極的な利用により安全安心な暮らしの実現
交通事業者	鉄道路線および幹線バス路線の維持およびサービス向上 タクシーの利点を活かした、きめ細かな移動ニーズへの対応
行政	地域公共交通の維持および利用者サービスの改善に要する予算の確保に努める 公共交通空白エリア等について、地域住民の移動手段の確保に責任を持つ 市民への適切かつ高度な情報提供に努める 地域住民の足の確保に向けて、積極的に関与する

基本的な方針

多核集約型の都市構造を形成し、誰もが自由に最適な移動手段を選択できる交通体系の実現

目標1 誰もが安全・安心かつ快適に利用でき、にぎわいの創出に寄与する歩行者・自転車交通環境の実現

【取組みの視点】  
歩行者・自転車が多い都心や地域中心において安全安心で快適な空間を整備するとともに、高齢者等に対応したバリアフリー化や自転車利用促進施策を実施し、にぎわいのあるまちづくりを目指す。

パ ツ ケ ー ジ	1 誰もが安全・安心かつ快適に利用できる歩行者・自転車空間の整備
	2 にぎわいの創出に寄与する交通環境の実現

目標2 まちの変化に柔軟に対応し、誰もが自由に移動できる、将来にわたり持続可能な公共交通サービスの実現

【取組みの視点】  
多核集約型の都市構造を形成する公共交通網を整備し、少系統多頻度運行による幹線軸の利便性向上を図るとともに、全ての地域住民の移動手段となるマイタウン・バスを含む支線軸の確保、にぎわいの創出等に資する域内交通の充実、交通結節点における鉄道とバスの連携強化を図る。  
また、利便性向上施策と併せ、交通事業者だけでなく、地域住民、行政が一体となり、地域の特性に応じた、持続可能な公共交通サービスの確保に向けた取組を進める。

パ ツ ケ ー ジ	1 多核集約型の都市構造を形成する公共交通ネットワークの整備
	2 利便性向上、バス路線運営適正化に向けた取組みの推進
	3 持続可能な公共交通の確保に向けた仕組みづくりの推進

目標3 拠点間ネットワークを形成する3環状放射型骨格道路網の実現

【取組みの視点】  
多核集約型の都市構造を形成する「3環状放射型骨格道路網」の整備を進め、安全な道路環境の確保、バスの走行性向上および市街地の通過交通排除による混雑緩和を図ることで、都心部と地域中心間を結び、人や物の移動を支える自動車交通の利便性向上を目指す。

パ ツ ケ ー ジ	1 多核集約型都市の骨格となる3環状放射型道路網の整備
	2 拠点間ネットワークを強化し走行性を高める道路整備
	3 安全で円滑な交通の実現に向けた取組